



▲健康ウォーキング大会



▲町内の介護施設



▲函南町障害者(児)基幹相談支援センター

重点施策3

福祉・健康づくりの推進

5億 3,350 万円

- 健康寿命を延ばすために、ウォーキングマップ「歩きたくなるまち函南」のコースを活用した健康ウォーキング大会の開催やご当地体操を地域へ普及させ、地域の交流、健康づくりの推進を図ります。
- 高齢者を支える町内の介護従事者の人材を確保し、質の高い介護サービスが提供できるようにするため、介護職員初任者研修を受講し町内の介護施設に就労した人に、受講費用の一部を助成するなど高齢者福祉の充実を図ります。
- 函南町障害者(児)基幹相談支援センターを拠点として、障害のある人が住み慣れた地域で自分らしく生きがいを持って生活できるように、福祉サービスの利用や各種制度の活用支援、生活上の困り・悩み事などを支援するため、相談機能の充実を図ります。

重点施策4

安心・安全な社会基盤の充実

5億 327 万円

- 災害に強いまちづくりを推進するために、新田排水機場ポンプ増設工事や上沢地区の大洞川放水路設置工事による浸水対策、同報無線(広報函南)の機器更新など災害への備えを強化します。
- 行政・地域住民・交通事業者が協力して、地域に最適な公共交通の全体像を描き、将来の本格運行を目指し、持続可能な地域公共交通網形成計画の策定を進めます。
- 高齢者を対象とした交通安全教室を開催するとともに、高齢者運転免許証の自主返納者に「地域交通利用券」を交付し、高齢者の事故防止に努めます。



▲大洞川放水路設置工事



▲地域公共交通の実証実験運行中バス

「環境・健康・交流都市函南」を目指して

～ “住んでよし、訪れてよし” の大交流時代の幕開け～

重点施策1

交流による活性化とにぎわいの創出

2億 3,509 万円



▲5月にオープンする道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」



▲懇談会などで町民との意見交換を続けます

- 5月にオープンする道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」を拠点とした観光情報の発信、交流人口の拡大、雇用の促進と農業の6次産業化の推進を図るとともに、防災拠点としての機能を強化します。
- 町の地域資源を「函南ブランド」に認定し、地域の特産品をふるさと納税の返礼品や道の駅などで販売し、全国に向けてPRすることで認知度の向上、販売経路の拡大などの支援を行います。
- まちづくりブロック懇談会やまちづくりセミナーなど、各種の懇談会などを通して町民との対話を続け、地域住民の行政参加につながる広聴活動を充実させます。

重点施策2

子育て・教育環境の充実、文化・スポーツの振興

2億 4,323 万円



▲増築した西部保育園



▲スポーツ健康フェスタ

- 子育てしやすいまちを目指して、妊娠期から子育て期にわたるまでの育児などのさまざまな悩みを支援するため、子育て世代包括支援センターを開設します。また、共稼ぎやひとり親世帯を支援するため、みのり幼稚園と自由ヶ丘幼稚園で預かり保育を実施するとともに、西部保育園の増築に伴う園児の受け入れを拡大し、子育て環境を充実させます。
- 「スポーツのまち函南」宣言に基づき、世代間・地域間の交流を図り、町民参加型のスポーツイベントを充実させます。また、体育施設の整備推進、利用促進を図り、生涯にわたりスポーツを楽しむ環境をつくります。